

住みやすさ指標に係るアンケート分析結果（概要版）

別紙ア

1 アンケートの概要

■実施の背景

守山市では、「住みやすさ日本一が実感できるまち守山」を目指し、市民と行政が目指すまちづくりの方向性を明確にする指標の策定に向けて、平成 26 年 9 月に住みやすさ指標研究会を立ち上げ、市民の皆さまや学識経験者の方々とともに、住みやすさ指標策定に向けた研究を重ね、平成 28 年 3 月に「住みやすさ指標」を策定いたしました。

この指標を活用し、市民の皆さまの幸せに対する実感や日常生活への思い、守山市やお住まいの地域に対するお考えを伺うため、アンケートを実施しました。

■アンケート調査期間

平成 28 年 6 月 23 日（木）から平成 28 年 7 月 15 日（金）まで

■アンケート調査対象

住民基本台帳に記載された 18 歳以上の男女の内、無作為抽出した 2,000 名

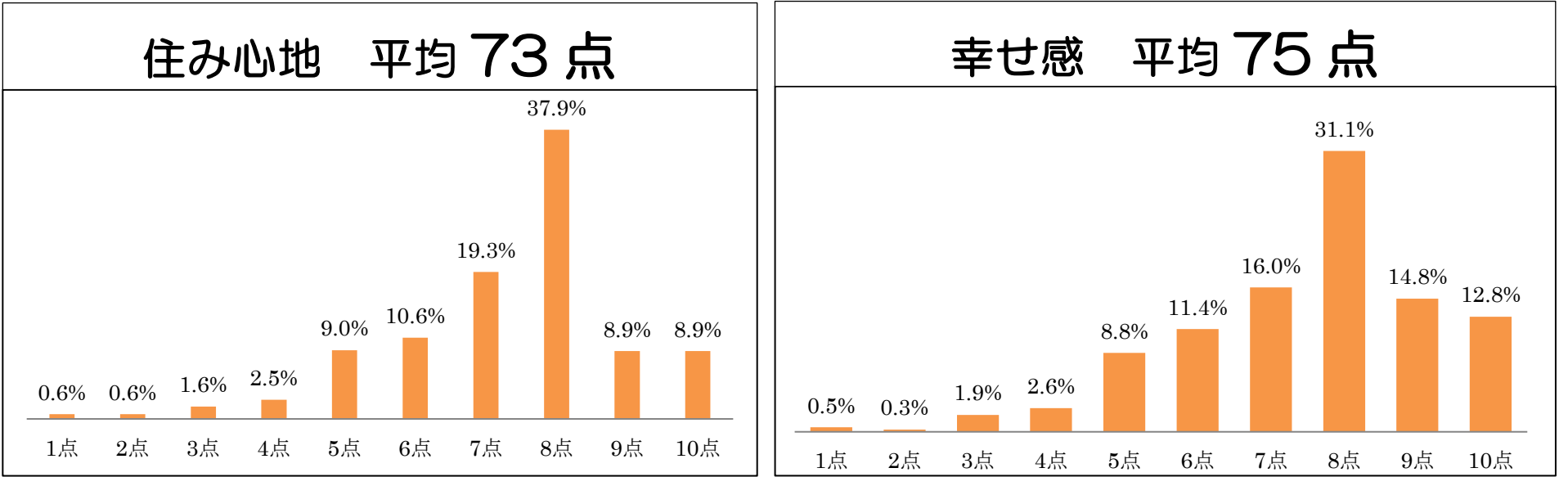
■アンケート調査方法

- ・上記調査対象者にアンケート票を送付
- ・調査項目 全 55 項目（「住み心地」に関する項目：21 項目、「幸せ感」に関する項目：21 項目、性別や年代など回答者の属性に関する項目：13 項目）

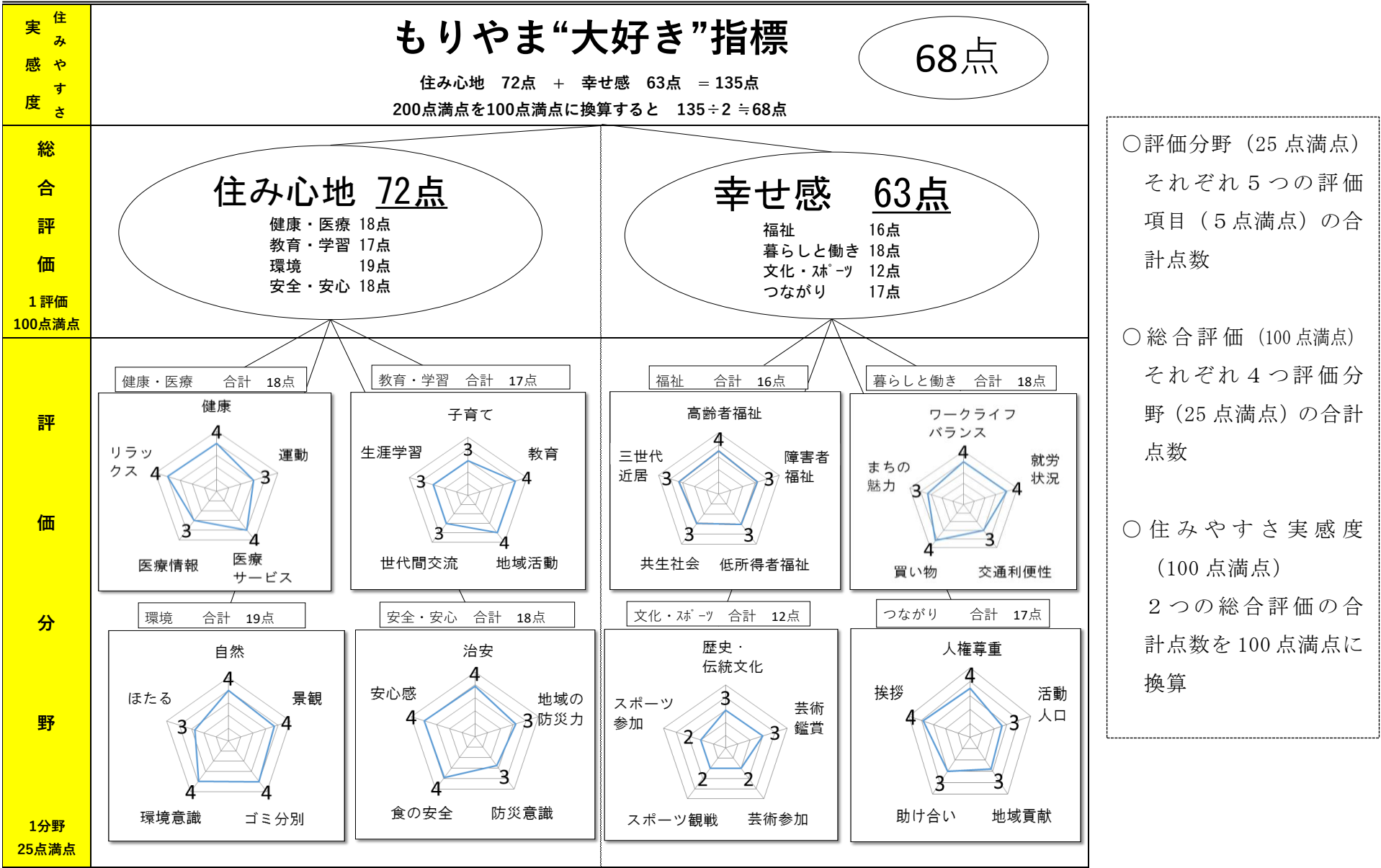
■回収状況

発送数：2,000 通、回収数：829 件、有効回答数：815 件（回答率：40.8％）

2 主観による点数（アンケート問 1、問 2 による点数）



3 住みやすさ実感度（調査項目点数の積み上げによる点数）



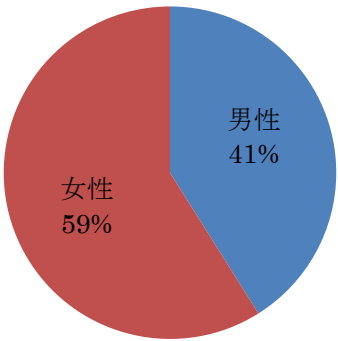
4 満足度

○満足度（「そう思う」または「まあそう思う」の回答割合）が50%を超えるのは40項目中16項目

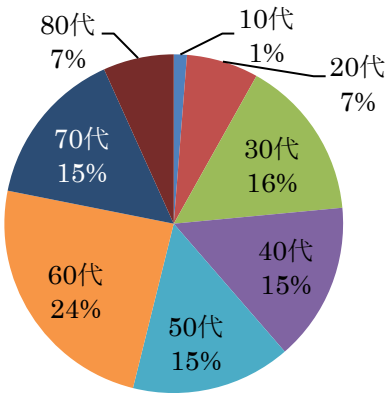
順位	項目	割合	順位	項目	割合	順位	項目	割合	順位	項目	割合
1	買い物	79.1%	11	生涯学習	62.5%	21	交通利便性	45.2%	31	防災意識	33.1%
2	ゴミ分別	76.2%	12	景観	61.8%	22	ワークライフバランス	45.0%	32	地域貢献	32.2%
3	自然	74.4%	13	リラックス	58.1%	23	運動	44.4%	33	活動人口	29.7%
4	環境意識	71.9%	14	高齢者福祉	54.0%	24	三世代近居	43.0%	34	歴史・伝統文化	28.1%
5	治安	71.5%	15	人権尊重	51.2%	25	まちの魅力	42.7%	35	低所得者福祉	27.5%
6	安心感	71.0%	16	就労状況	50.6%	26	ほたる	41.2%	36	芸術鑑賞	22.6%
7	食の安全	68.2%	17	教育	49.0%	27	世代間交流	36.3%	37	共生社会	18.8%
8	挨拶	67.5%	18	地域の防災力	47.5%	28	障害者福祉	36.1%	38	スポーツ参加	15.2%
9	医療サービス	66.0%	19	地域活動	46.1%	29	助け合い	36.0%	39	芸術参加	10.1%
10	健康	63.4%	20	子育て	45.3%	30	医療情報	34.1%	40	スポーツ観戦	8.7%

5 回答者の属性

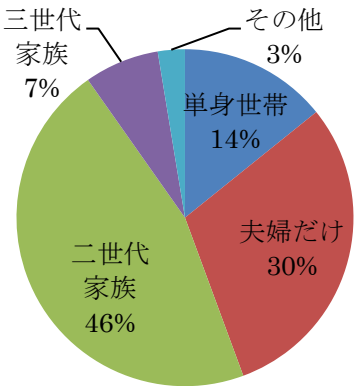
■性別



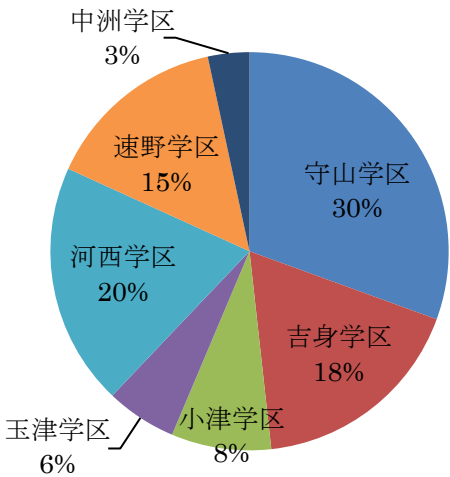
■年代



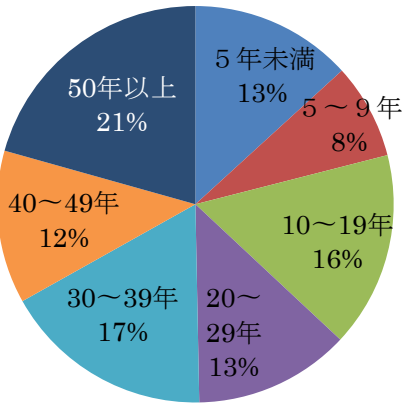
■世帯構成



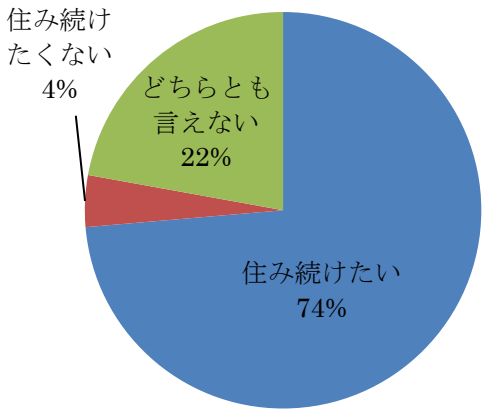
■居住学区



■居住年数



■定住の意思



○調査実施時の市全体の年代別の人口割合は以下のとおりです。（平成28年5月末現在）
18歳～20代:13%、30代:18%、40代:21%、50代:14%、60代:16%、70代:11%、80代以上:7%

○調査実施時の市全体の学区別の人口割合は以下のとおりです。（平成28年5月末現在）
守山学区:31.2%、吉身学区:20.7%、小津学区:7.2%、玉津学区:4.8%、河西学区:17.1%、速野学区:15.6%、中洲学区:3.2%

○アンケート調査では、上記項目に加え、以下の属性に関する設問があります。
職業、自由時間、世帯年収、通勤・通学先、住まいの形態、配偶者の有無、市政への意思の反映